

I 学校紹介 祇園東中学校祇園東中学校 ～ その実践の願い～

(1) つながりの中で一人一人の学びを大切に授業づくりの取組の推進

- ・学習院大学教授の佐藤 学先生がリードされている「学びの共同体」の拠点校
- ・生徒指導上の課題をきっかけに共生の考えが生かされた学びの授業づくりに取組む。

II 学校の取組1 ～ビジョンと手立ての共有～

(1) 祇園東中の教育ビジョン

- | | | |
|--------|---|--|
| 教育ビジョン | { | <ol style="list-style-type: none">1 すべての生徒が学び（学校教育活動すべて）を楽しむ。2 すべての生徒と教職員が学び合い、教職員は学びの専門家として成長する。3 生徒・保護者・地域から信頼され、連帯する。 |
|--------|---|--|

(2) 教育ビジョンの共有の取組：学びの授業づくりの授業を体育館で生徒全員、教師全員を対象に実施。

III 学校の取組2 ～生徒と先生の日々の取組～

(1) 生徒たちの取組：つながりの場の設定

- ① 授業はコの字の座席隊形
- ② グループ学習を導入、高い課題を男女4名で追求する授業の展開

(2) 先生方の取組：祇園東中の教育哲学「卓越性」・「公共性」・「民主主義」をベースに

- ① 「観る」（卓越性）授業観察（時間割の中に授業観察時間を組み込む）
- ② 「公開」（公共性）年間14回校内研修を実施（教師全員が公開授業を年で最低1回の公開）
- ③ 「チーム」（民主主義）授業改革委員会、教科会、学年会の3チーム。臨時・講師・本務者が平等に。

IV 取組の成果 ～つながりの中で成長する～

(1) 生徒のつながりの成果

- ① 仲間を大切にする、自尊感情が高い子どもたちの増加
 - ・Q-U調査で学校生活満足群58%（全国平均37%）
 - ・学校評価項目「良いところがある72.2%」、「学校が楽しい91%」、「周囲から認められている68%」

(2) 教師のつながりの成果

- ・学校評価項目（5段階評価）「仲間と働いていることが楽しい4.11」「仲間の中で信頼関係がある4.0」

(3) 地域とのつながりの成果

- ・地域行事への参加と中学生の参加の定例化

(4) 学力面での成果（平成26年度の全国学力・学習状況調査結果より）

- ・国語・数学の基礎A問題、活用B問題で県・国の平均突破。

V これからの現場 ～学校づくりは未来の社会づくり “キーワードは、つながり”～

(1) 生徒と先生が育ち合う学校づくりの中心に授業づくりは未来の社会づくり

- ① 今の学校現場の抱える3つの課題
 - ・「中核を担う人材の育成」・・・ 50代が多く、40代・30代が少ない職場
 - ・「若手の育成」・・・ 若手の育成者としてOJTを担ってきたベテランの大量退職
 - ・「全教師の授業の力の向上」・・・ 講師や臨時教師の割合が高く、実践が揃にくい
- ② つながりを通した学びの授業づくりの取組は課題に対する回答であり、共生社会づくりである。

(2) 学校づくりに対する願い ～共生社会をめざした取組みのはじまりは学校が共生の場となること～

- ① 教師の専門性を支える共同研修時間と教師間連携のゆとりの保障
- ② 学校に勤務する教師が原則、本務者
- ③ 保護者・地域の学校づくりへの参画意識の向上